２０１４年2月１７日

加盟組織各位

高知県労働組合連合会
執行委員長　田口　朝光

香美市長選挙における高知県労連の立場について

○県労連は２月１３日に開催した第１１回執行委員会で、3 月 16 日告示、3 月 23 日投票でたたかわれる香美市長選挙で無所属新人の笹岡優氏の推薦を決定しました。

香美市革新懇などが中心に立ち上げた「元気に暮らせる香美市・みんなの会」からの推薦願等をもとに論議をし、県労連の政治方針と運動方針に照らして推薦を決定したものです。

○「元気に暮らせる香美市・みんなの会」の母体となった香美市革新懇はこの間、香美市政について考える学習会や討論会を開催してきました。

その中で、市政を担うリーダーの資質として①市民の苦労、思いに寄り添う温かい心の持ち主である、②「住民の福祉の増進」という地方自治の本旨に沿った政治を行う人、③住民、職員参加の行政、まちづくりを行う人、④国の悪政に対決し住民の生活と地方自治を守る人、の４点をまとめてきました。

これらを通じて、既に立候補を表明している３人の候補者では自分たちの願いや香美市の将来を託せないと候補者擁立を模索していました。

香美市革新懇は１月２５日に開催した総会で①革新・無所属の笹岡優氏を擁立、②「元気に暮らせる香美市・みんなの会」を結成して、市民本位、くらし第一の民主市政実現のためにたたかうことを確認しました。

○笹岡氏は２月４日の出馬表明で、「市民の暮らし、８年前の合併による閉塞感が深刻だ。合併後、香美市長選は一度も投票されていない。合併の是非も含め市民の意思を示す初めての機会。市民の思いと一緒に新しい香美市をつくる。香美市は県下一基金を持っている。これを市民の暮らしと福祉、子どものために使う。国がおかしい時だからこそ、市民の暮らし応援の方向に金を使うべきだ」と決意を述べました。

笹岡氏の外には、元市総務課長の法光院晶一、元同市議の有元和哉、元県議の黒岩直良の新人３氏が立候補を表明しています。

○県労連は、政党支持自由、一致する要求での共同の追求を政治原則に掲げながら、首長選挙については、「四万十市長選挙での教訓を生かし、可能な自治体首長選挙での共同候補

の擁立、地域経済を守り住民自治を前進させる取り組みを進める」と昨年の大会方針で決定しました。

県労連としては高知市長選挙を除けば、四万十市長選挙に続き２例目の推薦となります。

組合員の思想信条を大切にしながら、地方自治、住民自治の発展、地域の再生に労働組合が真正面から向き合うという基本姿勢で、笹岡候補の必勝をめざし、政策、人柄を知らせ、支持を広げて行きます。

関係する産別、香美市に関わる単組、支部でも県労連の推薦決定を受けて十分な議論を要請するものです。

以　　上